

第21回 KYOのあけぼの フェスティバル2009

～^と男女に育む 京都の知恵と力～

日時／平成21年10月18日〔日〕 10:00～15:30

会場／京都テルサ(京都市南区新町通九条下ル)

主 催

KYO のあけぼのフェスティバル実行委員会／京都府／京都府男女共同参画センターらら京都
(海外研修KYO のあけぼの会／京都市地域女性連合会／京都商工会議所女性会／
京都女性スポーツの会／京都府更生保護女性連盟／京都府商工会議所女性会連合会／
京都府商工会女性部連合会／京都府食生活改善推進員連絡協議会／
京都府女性の船「ステップあけぼの」／京都府生活研究グループ連絡協議会／
(福)京都府母子寡婦福祉連合会／京都府民生児童委員協議会／京都府連合婦人会／
国際ソロプチミスト京都近郊13 クラブ／国際ゾンタ京都 I・II ・雅ゾンタクラブ／
社会環境浄化京都ネットワーク／部落解放同盟京都府連合会女性部／JA 京都府女性組織協議会)

第21回KYOのあけぼのフェスティバル2009

～男女に育む 京都の知恵と力～

京都府では、男女共同参画を推進し、女性のチャレンジや活躍をアピールする場として、毎年、KYOのあけぼのフェスティバルを開催しています。

今回のフェスティバルは、「男女に育む 京都の知恵と力」をテーマに、ハープ奏者の内田奈織さん、京都外国語大学教授のジェフ・バーグランドさん、山田啓二京都府知事による対談を実施し、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画による豊かな地域社会づくりについてお話いただきました。

また、実行委員会やNPO法人、大学生、男女共同参画センターの各種講座・セミナー等の修了生による様々なテーマのワークショップや、府内各地の特産品、手作り製品、女性起業家の作品を集めたあけぼのバザールも開催し、フェスティバル全体を通してにぎやかに交流を図りました。

日時 平成21年10月18日(日)

会場 京都テルサ(京都市南区新町通九条下ル)

PROGRAM

10:00～10:20 オープニング「京都市少年合唱団」 / 西館1階 テルサホール

- ♪ ふるさと 『秀とカッパの笛』より
- ♪ 大きな古時計 ♪ 川の中に なに見える
- ♪ タやけ こやけ ♪ 無理だ 無理だ
- ♪ COSMOS ♪ 祭りだ 祭りだ

10:20～10:50 式典「京都府あけぼの賞表彰式」 / 西館1階 テルサホール

10:50～11:10 ハープ演奏 内田奈織 / 西館1階 テルサホール

- ♪ 星に願いを
- ♪ 千の風になって 他

11:10～12:20 対談「男女に奏でる しごととくらしのハーモニー」 / 西館1階 テルサホール

対談者: 山田啓二 × 内田奈織 × ジェフ・バーグランド
京都府知事 ハープ奏者 京都外国語大学教授

12:00～15:30 あけぼのバザール / 東館2階 中会議室・交流コーナー

13:00～15:30 ワークショップ / テルサ内各会場

オープニング



京都市少年合唱団

指揮 葛西進さん
伴奏 今西陽子さん



式典



京都府あけぼの賞表彰式



(写真↑ 左から)

すぎもとせつこ
杉本節子さん ((財) 奈良屋記念杉本家保存会事務局長、料理研究家)

すぎもとよしみ
杉本好美さん (女性農業士)

やまもとじゆんこ
山本淳子さん (平安文学研究者)

宇治市消防団あさざり分団 (防火・防災活動)

分団長 おおきえみこ
大木恵美子さん

副分団長 すえみつむつこ
末光睦子さん

副分団長 ほんだきみよ
本田君代さん



ハーブ演奏



ハーブ奏者 うちだなおり
内田奈織さん

対談

～男女に奏でる しごととくらしのハーモニー～



京都外国語大学教授
ジェフ・バーグラントさん



ハープ奏者
うちだなおり
内田奈織さん



京都府知事
やまだけいじ
山田啓二

【主催者挨拶】

京都府知事

やまだけいじ
山田啓二



本日は、本当に大勢の皆様、「第21回KYOのあけぼのフェスティバル2009」に御参加を頂きまして、主催者といたしまして厚く御礼を申し上げます。

また、本日、京都府あけぼの賞を受賞される皆様方には改めましてお祝いを申し上げたいと思います。

京都府あけぼの賞は、各分野の先駆的な女性の御貢献や御功績を顕彰させていただくのですが、その広がりすごさを感じております。今回は、京都の文化を守られている杉本節子さん、地域において農業を支えていただいている杉本好美さん、去年の源氏物語で大変活躍をいただいた山本淳子さん、女性消防分団の草分けである宇治市消防団あさぎり分団ということで、色々な各面で、女性の活躍というものがしっかりと形になっているなという気がしております。

今年のフェスティバルは、先程の京都市少年合唱団の皆さんの清らかな歌声が始まりまして、「男女に育む 京都の知恵と力」というテーマで開催をさせていただきます。

ちょうど、この10日から12月20日まで「京都 知恵と力の博覧会」を、開催しており

ます。この「京都 知恵と力の博覧会」というのは、いわゆるパビリオンを創って、終わったら建物を取り壊すという一時的な催しでなく、京都のまち全体が会場です。見せなければいけないものは、京都の長年にわたる力。ずっと私たちが大事にしていかなければならない「ほんまもん」を、多くの京都の人、さらには日本中の人、世界の人に見ていただき、そして、「私たちのこの地域には、まだまだ素晴らしい沢山の宝があるんだ」ということを感じていただきたい。青蓮院の国宝青不動さんは、今回初めて開帳されました。誰も見たことがなかった素晴らしいものがまだ沢山あります。こうした京都の魅力や資源を私たちが生かしていけば、21世紀の閉塞感溢れる社会を打ち破れるのではないか。それを京都から示していきたいということで、この博覧会を開催したわけであります。

まさに、このあけぼのフェスティバルにおきましても、「男女に育む 京都の知恵と力」で、男女協働のもとで、お互いの知恵と力をあわせれば、未来の京都は明るいものになるというフェスティバルにしていけたらと思います。

結びにあたりまして、このフェスティバルの開催に、本当に熱心に取り組んでいただきました中畔実行委員長をはじめ、関係の皆様から御礼を申し上げますとともに、インフルエンザが流行っておりますので御用心だけはしていただきまして、御健勝でお過ごしいただきますことを心から願ひまして、開会にあたっての私の挨拶とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございます。

【主催者挨拶】

K Y O の あ け ぼ の フ ェ ス テ ィ バ ル 実 行 委 員 会 委 員 長

なかあぜ つ や こ
中 畔 都 舎 子



(京都新聞社提供)

皆様おはようございます。

本日は、「第21回KYOのあけぼのフェスティバル2009」を開催いたしましたところ、このようにたくさんお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。来賓の皆様方には、日曜日で大変お出ましくいところを、御出席賜りまして誠にありがとうございます。とりわけ林田議長様には、御挨拶を頂戴できますことを大変光栄に存じております。

また、本日、栄えあるあけぼの賞を受賞されます皆様方に心からお慶び申し上げます。この賞はご存知のように、平成元年に、京都府が創設されました。先駆的に活躍された女性に与えられる賞でございます。皆様方には今後それぞれの分野でさらに御精進されますことを御期待申し上げます。

このフェスティバルも、21回目を迎えることになりました。ある意味では、この事業の振り返り点でございます。一度、原点に戻って考え直してみようということで、今、御紹介いただきました実行委員の皆様方といろいろ議論しながら進めてまいりました。

この事業は、我々が男女共同参画社会の実現

に向けて、京都府の条例の中身を知り、意識啓発を図っていこうということで、学習に焦点をしばって今日までまいりました。

しかし、今、地域の具体的な課題、例えば少子化、介護、環境、防災などは、我々としましても、地域の中で男女共同参画の視点に立って取り組んでいかなければならない課題だと思っております。今年度から市町村と一緒に地域での男女共同参画の取組をさせていただこうと思っております。プログラムの最後でございますけれども、市町村との共催事業として、京丹后市、京丹波町、福知山市、長岡京市で実施させていただきますので、どうぞ時間の許す限り御参加を頂きたいと思っております。

そして、今年は京都府も計画の見直しの時期でございますので、いろいろな問題点をお互いに考えながら、京都府に提言していくという作業も時には必要ではなかろうかと思っております。

今日は、ワークショップやバザールにたくさん御応募いただき、いろいろな催しがテルサ内に所狭しと満載ですけれども、どうぞ一日楽しんでいただきたいと思います。

この大会を実施するにつきましては、男女共同参画課の職員の皆様方、そして、テルサ、男女共同参画センターの職員の皆様方に大変お世話になりました。心から御礼を申し上げます。簡単ではございますけれども、挨拶にかえさせていただきます。

ありがとうございました。

【祝辞】

京都府議会議長

はやしだ ひろし
林田 洋



(京都新聞社提供)

「第21回KYOのあけぼのフェスティバル2009」が、府内各地から、多くの方々の参加を得て、ご盛会の内に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

本日は、多くの京都府議会議員の皆さんがご出席ですが、京都府議会を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

はじめに、本日、栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様に、心からお祝い申し上げます。

皆様は、男女共同の社会参画はもとより、それぞれの分野において、先駆的な活動を展開され、顕著な功績をあげられた方々であります。

御受賞をお慶び申し上げ、引き続きご活躍を、心からお祈りする次第であります。

本年でこのフェスティバルも21回目を迎え、年々、内容の充実が図られておりますが、このように、府内各地、各般にわたる分野からの参画を得て開催されますのも、中畔実行委員長様をはじめ、関係の皆様方の御尽力、また、継続した取組の努力の賜物であり、改めて、敬意を表する次第であります。

さて、様々な時代や活動を経て、平成11年に施行された「男女共同参画社会基本法」も、

本年で満10年を迎えております。

この法律では、「男女の人権が尊重され」、「男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進する」ことを目的としております。

女性の社会参画は、着実に前進しておりますが、一方で、意思形成・決定過程における女性の登用、女性の労働条件、女性に対する暴力など、多くの課題を抱えております。

また、近年、少子・高齢化、地域の力の減衰など、男女相互に抱える重要な課題も山積しており、この解決に向けた取組が重要であります。

本日、御参加の皆様は、様々な分野において、自らの力を発揮され、地域においても、素晴らしい活躍をされている方々であります。

皆様には、これからも、性別を超えて、個々の能力を最大限に生かすことのできる、心豊かな社会の実現に、大きな力を発揮いただき、また、家庭や地域においては、今日的な課題をしっかりと見つめていただきながら、その解決に向けた取組に御奮闘いただきますよう、御期待申し上げます。

私ども京都府議会は、山田知事さんとともに、人権を尊重し合い、それぞれが社会的な責任を果たし、個人の能力が十分に発揮できる社会の実現、また、その個性を活かしながら地域の力を再生し、安心、安全な社会の実現に向け、引き続き、努めてまいり所存であります。

結びに当たりまして、このフェスティバルの御成功と、御臨席の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

本日はおめでとうございます。